レッスン：PYR No.80

テーマ：人間のイデアの最初の活動

PYR 80 KE08 No.5 07 12 19

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　過去のレッスンの中で、Lifeがそれ自身の中で自らを現すためには絶対存在の本質の主な特質、クオリティーの一つが必要である、と述べました。そしてそれは天の母（Heavenly Mother）です。彼女を通じてLifeのなかの全てがLifeとして現れるのです。なぜなら、創造界においてLifeが現れていると言う時には、まさにこれが起きているからです。創造界は実際、アウタルキー(自足状態）の中にあり、それは絶対存在の中にあり、何であれ創造界のなかに在るものはディバインの黙想の活動以外のなにものでもありません。終わり無きディバインの黙想であり、それがLifeなのです。

　Lifeであるステートには、この活動の主な特質があり、それは創造界及び創造界内における活動です。これがディバインの黙想の活動です。なぜなら黙想があるとき、それは活動、動きがあることを意味し；そこで活動、動いているのは天体の動きであり、またこのディバインの黙想の活動内におけるモナドセルフとしてのLifeの活動だからです。

　さて、人間のイデアの最初の活動に関しては、それは魂のセルフエピグノシスであり、各魂のセルフエピグノシスもまた彼女（＊天の母）を通じて現れます。勿論、同じ事は創造界においてLifeの本質を現している全てのイデアについても言えます。ですから、どのオーダーであれアークエンジェルとしての1つのモナドセルフすらも彼女を通じて現れるのです。

　さて、実存の諸世界における現れとして、魂のセルフエピグノシスからの微細なスパークが実存の諸世界に入り、それが後に現在のパーソナリティーとして活性化されます。このスパーク、それは魂のセルフエピグノシスですが、それも彼女を通じて生まれるのでしょうか？どう思いますか？言葉を変えて言うなら、それは誕生ということでしょうか？答えはノーです、なぜならそのスパークは魂だからであり、それは魂のセルフエピグノシスとは異なったものを現しているわけではないからです。

　前に述べましたが、最初に実存の諸世界に、サイコノエティカル界にパーソナリティーと私たちが呼ぶ現れがあります。このパーソナリティーはまたLifeの結果であり、それはLifeの本質を完全に現わしています。この現れはいわゆる“アダムとイブ”であると述べました。それは二元性を現すことができ、また2つの性があります。

　以前、Lifeの本質を完全に現しているこのパーソナリティーは、完全に再形成されたサイコノエティカル体を使っているのか、それとも高次ノエティカル体を使用しているのか、そしてそれはLifeのスパークによって活性化されるのか、という質問がありました。皆さんはどう思いますか？考えてみてください。

Pge2

Q：それは高次ノエティカル体を使っています。なぜなら、初めての転生においては現在のパーソナリティーになる前に、私たちはまだ高次ノエティカル界につながっているからです。それゆえにまだ高次ノエティカル体を使用しており、完全に再形成された体とは自己実現に到達するために全てのプロセスを通過してきた個人が達成するものだからです。その時に初めて諸体は再形成されます。しかしアダムとイブは最初は高次ノエティカル体を使うからです。

K：このパーソナリティーはLifeのスパークによって活性化されていますか、いませんか？

Q：活性化されています。なぜなら全てはLifeのスパークによって活性化されるからです。

K：そのとおりで、それは高次ノエティカル体を使っています。なぜなら、その体はLifeの本質を完全に現している時に使用されるからです。

　それは活性化されているか否かという点については…答えはノーです。それはまだ活性化されていません。なぜならLifeのスパークによって現れていますが、まだ現在のパーソナリティーではないからです。それはman-personality（＊人としてのパーソナリティー） です。さて、完全に再形成されたサイコノエティカル体についてですが、完全に再形成されたサイコノエティカル体は可能性としてそこにあります。なぜならば、それは特定のヒポスタシスを持つ完全に再形成されたサイコノエティカル体ではないからです。それは可能性です。それはサイコノエティカル体としてあります。なぜなら無からは何も現れないからです。

　レッスンの中で言いました…誕生する身体は現れではなく、出産という現象を通じて現れると言い、それは彼女を通じて現れます。初めて転生してくるとき、体は不定形であり、それは出産後、その惑星上にいる惑星の形をしています。勿論、現在のパーソナリティーとしての初めての転生の時に使われる体は聖霊的に築かれます。

　さて、最初の転生ですが、その肉体は聖霊によって築かれますが、最初の転生のプロセスは彼女を通じて物質化され、それ以降の転生の場合は肉体は母親を通じて行われます。

　多くのレッスンで述べましたが、不定形の諸体の再形成へのプロセスはエクササイズ、多くの体験つまり多くの転生を通じて行われます。覚えておく必要がありますが、サイコノエティカル体が使われる時には常に二元性があり、たとえそれが完全に再形成されていても二元性があります…たとえそのパーソナリティーが高次ノエティカル体を使用する能力があるにしても。ですからアダムとイブとしてのそのパーソナリティーは高次ノエティカル体を使用しており、完全に再形成されていないサイコノエティカル体ではありません；繰り返しますが、サイコノエティカル体の能力は完全に再形成された体としてあります。

Ｑ：あなたは下降中のサイコノエティカル体について再形成という言葉を使いますが、私は再形成という言葉を聞く時、それは努力の末に再形成されたというイメージなのですが。

Ｋ：はい、私がその言葉を使用した理由は、それが此までの多くのレッスンにおいて使用してきた言葉だからです。私たちがサイコノエティカル体と言う時、それはイデアフォームと同一であるサイコノエティカル体と言うこともできたかもしれません。

Ｑ：はい、なぜなら、さもないと私たちは混乱してしまうかもしれないからです。なぜなら現在のパーソナリティーの全ての努力とはサイコノエティカル体を再形成することだからです。

Ｋ：完全に再形成されたサイコノエティカル体と同一のサイコノエティカル体と言うこともできます。しかし、いずれにしても探究者にとって私たちが何を意味しているかを認識すべきです。なぜなら、それが最初の転生のことだと知っているので、それは不定形の諸体を再形成するという問題ではないからです。しかし、もし皆さんに混乱を招くようなら、それを書き留める時には、変えてもいいでしょう。なぜなら、エレブナが提供した多くのことに関して体験がないと、探究者達はこれを読んで混乱するかもしれないからです。

　明確に説明しましょう：アダムとイブとして、それはサイコノエティカル体の能力を持つ高次ノエティカル体です。アダムとイブとしてそれは高次ノエティカル体を使っています、しかしその現れのなかには可能性があります。なぜならそれはサイコノエティカル体の誕生としてそれを使用する能力のあるLifeの現れだからです。

Page3

Q：しかし、それでもその時点において高次ノエティカル体とサイコノエティカルの違いは何ですか？

K：違いは、サイコノエティカル体は二元性があります…ノエティカル/思考、サイキカル/感情。

サイコノエティカル体は可能性としてそこにあり、もしその体がそのステートで使用される場合、自動的に、パーソナリティーとしてのLifeのその現れは二元性を使うことになります。それ以前は、その可能性を使用していて、それは高次ノエティカル体としてのみのman-personality（＊現在のパーソナリティーではないという意味）でした。

　現在のパーソナリティーはその可能性、能力の現れです；それはその可能性が実現したものです。the man personality　はLifeのスパークの現れであり、Lifeの本質を完全に現しています。スパークとの唯一の違いは、そのスパークとしての現れは二元性を現す可能性を有するということで、その二元性は現在のパーソナリティーに実存の諸世界において顕現する、つまり現れる可能性を与えるのです。

　サイコノエティカル体、その可能性が惑星上で誕生するということもできます。そしてその結果、そのサイコノエティカル体はLifeの本質を現さず、今やLifeのスパークによって活性化され、そしてもはやLifeそれ自体の現れではなくなる、活性化される、ということです。

現在のパーソナリティーとパーソナリティーの関係は何でしょうか？パーソナリティーは今や現在のパーソナリティーの中で可能性として留まります；私たちの中に、永遠のアトムの中に見いだされるのはサイコノエティカル体です。

　レッスンの中でいいました…私たちの内側には高次ノエティカル体が*ある*と言いました。それはLifeのスパークと同一です。ですから、最初は高次のエティカル体の中に可能性としてサイコノエティカル体を有しており、今やその反対になったわけです。サイコノエティカル体の中に、永遠のアトムの中に、高次ノエティカル体を再び使用する可能性があり、高次ノエティカル体を使用する現れがLifeの本質を再び完全に現す可能性がある、ということです。ですから前と反対になったわけです。

　高次ノエティカル体はその中に可能性として二元性の能力があり、それゆえにアダムとイブは一つであると述べたのです。つまりその中には両方の性を現す可能性があるということです。しかし、現在のパーソナリティーとして転生のサイクルに入る前は、サイコノエティカル体はまったく使用されず、そこにはアダムとイブとして、その可能性だけがあるのです。

　サイコノエティカル体が現在のパーソナリティーとして実存の諸世界の低い波動において現れている時には、それは完全な形ではなく、スパークと同一ではありません。形は不定形であり、その諸体の形は惑星と同じ球体です。なぜならそれらは惑星上で表現されるからです。前はそのパーソナリティーはサイコノエティカル界で高次ノエティカル体を使用してそれ自身を現していました。覚えておいてください、このプロセス全体は1秒の何分の1というあっと言う間の出来事です。それは時間の意味を越えています。簡単に言うと、これまで述べたプロセスは以下のようになります：

　まず、魂のセルフエピグノシスがあり、後には永遠のパーソナリティーとなり、その中心には実存の諸世界における魂のセルフエピグノシスとしてのスパークがあります。そしてこのスパークがいわゆるパーソナリティーを現します；つまり、私たちが現れと言う時、それは現れとしてのスパークそれ自体です。ですから、このパーソナリティーは活性化しておらず、それはLifeそれ自体です…現れまたはスパークそれ自体で、それはLifeのあらゆる能力を備えたLifeです。そしてLifeの能力とは何でしょうか？人が考え得るもの全て、Lifeには可能性があり、もっともっと大きなものです。そしてその現れているLifeには二元性があり、そしてサイコノエティカル体の顕現という可能性もそうなのです。

Q：そしてその中心には高次ノエティカル体があり、パーソナリティーがあり、サイコノエティカル体としての可能性があり、それら全てはまだスパークとしてLifeの本質を現しているのですね。そしてそれら全ては活性化されておらず、それは魂のセルフエピグノシスからの輝きなのですね？

K：考えてみましょう、Lifeのスパークがこのポジションに下降する時、つまり、このポジションそしてそこから下は状態は異なります、しかし今このポジションではLifeのスパークが実存の諸世界に入りつつあります。そしてここはサイコノエティカル界において一番波動の高いレベルです。

Page4

　このポジションにはスパークがあり、またパーソナリティーと呼ばれるものがあります。なぜならこのスパークにはこの可能性があり、その現れを表現しています、そしてその中にあるこの高次ノエティカル体には今それ自身における現れとして今やサイコノエティカル体を顕現させる可能性があります。それによってこの現れは活性化され、そしてLifeの本質を完全には現さない状態になります。

　ですから、高次ノエティカル体とサイコノエティカル体があり、そして可能性とはこの現れが最初は不定形のサイコノエティカル体を使用し、しかしまた高次ノエティカル体の形に完全にマッチするようにその諸体を完全に再形成するという可能性がありますが、まだサイコノエティカル体として留まることになります。

　さて、現在のパーソナリティーがあり、この現在のパーソナリティーが転生を通じて経験を重ね、最後には自己実現に到達します、すると再び現在のパーソナリティーではなくパーソナリティーとなり、自己実現したそのパーソナリティーは高次ノエティカル体を使用し始めます。しかしまた完全に再形成されたサイコノエティカル体として転生のサイクルに留まります。最初はサイコノエティカル体が高次ノエティカル体と同一になるという可能性があり、しかし今はそれは完全に再形成されたサイコノエティカル体となったのです。そしてこの段階からはサイコノエティカル体は完全に天人の体と同じになります。

　その現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体であり、その体は3次元における4つのエレメントから出来ており。しかも超物質、ノエティカルサブスタンス、そしてスーパーサブスタンスというような高次の波動を現す邪魔にならないのです。

　4つのエレメントはそのパーソナリティーが物質の中で表現される手段として使用され、そしてそのためにニーズが生じます。そのパーソナリティーは肉体を通じてニーズ、必要性を生み出し、それは結果として必要な体験を与えます。そして物質界にいる間、そのパーソナリティーは常に影の五感を使用するという幻想のなかにおり、それは実際幻想なのです。なぜならそれがLifeそれ自体から多くを現すようになると真の五感を使用することになるからです。

　ですから、制限とニーズはそのパーソナリティーがやるべき仕事を達成するのを助けるのです。そしてLifeそれ自体はそれらの制限の原因であり、それによって現在のパーソナリティーを活性化する必要があるのです。

　理論的には、不可視のヘルパーとしての自己実現したパーソナリティーは何であれ必要なものを物質化し、非物質化する能力があります。しかし､勿論単なる現象を起こすためにそのようなことはしません。そして、そのようなパーソナリティーが苦難の状況にあるのは、そのパーソナリティーが誰か他の人の苦しみを背負うからであり、そのような場合には犠牲の十字架に耐えねばならないのです。

　不可視のヘルパーには常にそのような可能性がありますが、その理由は現象を起こすことなく他の同胞の人間を助けるためであり、他の人間達を魅了させて自分の方にフォーカスさせるためではありません。

Ｑ：全ての現れは天の母を通じてということで、私たちは天の母からスタートしましたが、彼女は今どこにいるのですか？

Ｋ：あらゆる所にいます。天の母と言う時、それは神のことであり、それは神の本質のなかであり、つまり神であり、絶対存在なのです

　息はLifeのスパークによって与えられます。現在のパーソナリティーとしてのその現れのために特に築かれたその身体を使う特定のパーソナリティーの中にあるLifeのスパークによって、息は与えられます。なぜなら、各肉体は特定の現在のパーソナリティーを活性化するスパークによって与えられる“指示”に従って築かれるからです。それは勿論、現在のパーソナリティーに働いている全ての諸法則と関係していますが。

　Lifeの本質は可能性を規定し、その可能性は今や諸法則の下にあります。それはその現れが表現される現れのレベルによります。しかし法則も含めて、全てはLifeの本質の中にあり、Lifeの中にないものは何もありません。何であれ最大の中にあるものは最小の中にもあります。

もしLifeのスパークはLifeそれ自体に比べると最も小さいと言うことができるなら（勿論そんなことは言えませんが…）、しかしそうであるとしましょう；ですから最大のものすら最小の中にもあり、その反対も言えるのです。

Q：現在のパーソナリティーは様々なサイクルのどのポイントで永遠の今を体験するのですか？

K：そのパーソナリティーが超意識的意識のセルフエピグノシスを現し始める4番目のサイクルで体験し始めます。しかし、それもまた漸進的に進んでいきます。パワーと能力のセンターに関しては、人によってはそれらのセンターにまったく触れることなく、あるサイクルをマスターすると現れる場合もあります。

　　私たちが知る限り、現在のパーソナリティーがLifeのアベニューに入るのを真に助ける唯一のメソッドは皆さんに与えられているメソッドであり、それはLifeそれ自体、つまり最愛のお方から与えられているものです。

　パワーと能力を現す手段として生命の木を使っている他の全てのメソッドは、生憎それらは中央の柱の左右両方の側に触れており、それらのほとんどはそのセンターを活性化するために、いわゆるクンダリーニに触れているものさえあります。ユダヤ人達が使用しているカバラですらも上から下へとスタートし、そこでは何も成功しません。人はまず最初に自分自身の現在のパーソナリティーへのワークからスタートするべきです；他の全てのメソッドはエレメンタルを活性化するテクニック以外の何ものでもありません。

Ｑ：しかし、誰もが物事を異なった光の中で見ます。つまり各人の気づきのレベル、または同調その他何であれ、様々な方法のなかで見ます。

Ｋ：それは気づきのレベルによります。様々なやり方でアプローチするその可能性はどこから来るのでしょうか？それはLifeそれ自体によって可能性、能力として与えられます。それによってその人の気づきのレベルによるニーズ、必要性に基づいて、その人が様々な経験を経るようにです。それゆえに、パーソナリティーがある特定のレベルの気づきに到達すると、他のシステムを批判したりジャッジしたりします…しかしその人も今のレベルに到達する以前は、それらのメソッドを使用していたことを忘れてしまうのです。後にはもっと有益なメソッドを使うことができるようになることがわからないのです。ですから私たちが現在受け入れないそれらのシステムも過去においては私たちの役に立ったのです。しかし、あなた方がある特定のレベルに到達すると、それはもはや助けにはなりません。ですからそれらにはタッチせず、もっと有益なものにタッチするのです。

Q：一度汎宇宙的潜在意識に問いを投げかけると最終的には答えを得ることができる、と言うのは本当ですか？

K：個人の潜在意識のマインドは大きな貯蔵庫に例えることができます。そしてそこでは全ての経験が貯蔵されています。しかし、それもまた汎宇宙的潜在意識のマインドの中にあるのです。ですから、あなた自身の体験ではない何かを現すこともできます。それは流出、放射です。それゆえに、私たちにはファンタジー、空想などがあるのです。

Q：ある惑星上の人類が自己実現にどんどん近づくと、その惑星では物事がスムーズに進むようになり、物質的条件はそれほど良くなくても人生がより快適になります。

K：このように言いましょう。気づきのレベルに関して、ある星において一番低い気づきのレベルの人々が4番目のサイクルに入ると、もはや人々はリーダーを必要としなくなり、人々を組織する人々を必要としなくなります。私たち全員が一つとなって機能し、その時真の意味で私たちは肉体を持っていながらパラダイスの中で生きるようになります。

それが本当の意味でのコミュニズムです。しかしそこに到達するのは何千年も先にことになるでしょう。

EREVNA PYR 80 KE08 No.5/0712 19